

JPDA 1月定例理事会議事録

日 時：平成28年1月29日（金）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事22名中21名（加藤芳夫、伊藤 透、井上 聡、畝野裕司、
梅原 真、江藤正典、小川裕子、加藤和美、加藤憲司、菊地泰輔、
竹内清高、田川雅一、永島 学、中森恭平、名久井貴信、信藤洋二、
藤田 隆、丸本彰一、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）
欠席届（牛島志津子）
監事2名中1名（池田 毅） 欠席（島崎英雄）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者21名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事の3氏であることを確認し、議事に入る。(決裁事項の議案号数は**ゴシック**。)

※なお、議事に入る前に、賛助会員で弁理士の山本典弘氏に出席いただき、10号議案のJPDAのVI検討(ロゴマークの修正及びdロゴの扱い等)に関する知財に関する調査結果を資料に沿って案内いただいた。結論としては、「JPDAロゴの微修正」は全く問題なく、「dロゴの色替え」及び「dロゴの丸囲み」共にJPDAの事業活動の範囲内で使用される限り問題なしとの報告をいただいた。

第1号議案 新入会員入会審査の件

「JPDA あの人を会員に」キャンペーンでこの企画の発案者である梅原真氏からリクエストのあった小板橋基希氏については、梅原氏からの要望もあって、皆さんからのリクエストと合わせて3月理事会において審査・承認することを、定例の新入会員入会審査に先立って確認した。

本日の理事会までに入会申込み法人2社、個人3人があり、定款6条(会員資格の取得)並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人2社、個人3人の入会を承認した。

(1)法人会員(2社)

<東日本>

株式会社圖庵(ずあん) (推薦者=永島 学)

株式会社山田紙器 (推薦者=横浜リテラ 星野 匡)

(2)個人会員 (3人)

<東日本>

緒方京子(おがた きょうこ) (推薦者=森田利江子)

斉藤史竹(さいとう ふみたけ) (推薦者=時田秀久)

樽見星爾(たるみ せいじ) (推薦者=森 孝幹)

第2号議案 再入会承認の件

本日の理事会までに再入会届を提出した個人1人の再入会を承認した。

(1)個人会員 (1人)

<東日本>

鈴木智晴(すずき ちはる) (株式会社ポーラ)

第3号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届を提出した個人会員1人の休会を承認した。

(1)個人会員 (1人)

<東日本>

白井信之(のぶゆき) (会員としての貢献・メリット再考のため) [28年1月～29年12月]

第4号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員3社、個人会員8人の退会を承認した。

(1)法人会員 (3社)

<東日本>

大王製紙株式会社 (諸般の事情により) [27年11月末退会希望]

ポーラ化成工業株式会社 (法人代表がポーラに出向となったため)

[27年12月末退会希望]

<西日本>

P&Gジャパン株式会社 (デザイン部門が海外に移動のため) [27年12月末退会希望]

(2)個人会員 (8人)

<東日本>

稲澤美穂子(みほこ) (業務内容の変更のため) [28年1月末退会希望]

今村朔郎(さくろう) (高齢になり体力・知力低下のため) [28年1月末退会希望]

大澤颯子(あきこ) (パッケージデザイナー職を辞するため) [27年12月末退会希望]

塩崎杏澄(あすみ) (自社都合により) [28年1月末退会希望]

田中英樹(ひでき) (法人会員で継続します) [27年9月末退会希望]

<西日本>

梅川修司 (病氣療養中で休会していたが、業務継続が困難のため)

[27年11月末退会希望]

鹿児島蓉子 (今後の仕事の方向性を考えて) [27年11月末退会希望]

舛元和夫 (デザイン業引退のため) [27年11月末退会希望]

第5号議案 協会名義使用承認の件

本日理事会までに下記の協会名義使用及び審査員の就任依頼がありこれを承認した。

(1) 協力名義の使用依頼

- ・「魅せるパッケージデザイン商談会2016」への協力名義使用依頼

主催 公益財団法人 大阪市都市型産業振興センター

- ・「ライティング・オブジェ 2015」への協力名義使用依頼

主催 ライティング・オブジェ制作委員会

(2) 後援名義の使用依頼

- ・「日本サインデザイン協会創立50周年記念事業」への後援名義使用依頼

主催 公益社団法人 日本サインデザイン協会

- ・「第29回公募2016日本ジュエリー展」への後援名義使用依頼

主催 公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会

(3) 協賛名義の使用依頼

- ・「TOKYO PACK 2016 - 2016東京国際包装展」への協賛名義使用依頼

主催 公益社団法人 日本包装技術協会

(4) 審査委員就任依頼

- ・「2016 日本パッケージングコンテスト」への審査委員就任依頼

主催 公益社団法人 日本包装技術協会

第6号議案 正副理事長報告

加藤理事長から伊藤副理事長の報告を含めて案内があった。D-8運営会議に関しては、デザインミュージアム、デザイン保護、ジャパニデザイナーズの議題に対して、デザインミュージアムについては原点に戻って考えてみる必要があるのではないか、ジャパニデザイナーズについては現在の登録者増加が見込めない状況では法人への拡大も視野に入れる必要があるのではないか、等の意見が出された旨が補足された。なお、JPDAのデザインミ

ミュージアム活動にはアーカイブ研究会で着実に対応している点を報告した旨も補足された。また、JIDA新年会での挨拶ではSMAP騒動に触れ、SMAPはすでに日本ブランドになっており、個人のレベルを超える状況になっていること、及び、第2次のオリンピック・エンブレムの審査に田川理事と立ち会った様子等が案内された。

- 加藤理事長報告
- ・ 11/24 日本プロモーションM協会2015贈賞式に山崎事務局長が代理出席。
 - ・ 1/ 8 2016年印刷産業連合会新年交歓会に出席。
 - ・ 1/15 日本インテリアデザイナー協会賀詞交歓会に山崎事務局長が代理出席。
 - ・ 1/20 JIDA賀詞交歓会に出席し祝辞を述べる。
 - ・ 1/26 D-8運営会議に出席。田川理事同席。
 - ・ 1/29 日本サインデザイン協会の創立50周年式典に山崎事務局長が代理出席予定。
- 伊藤副理事長報告
- ・ 1/ 7 2016年包装界合同新年会に出席。
 - ・ 1/29 第55回 2016年ジャパンパッケージングコンペティション審査会に審査員として出席。

第7号議案 平成28・29年度 役員選挙開票結果について

山崎事務局長から、平成28・29年度の役員選挙開票結果を本日の理事会資料に挿入し忘れていたことから、口頭で下記の案内があった。

役員選挙の結果、産業区分での当選者数がデザイン業とその他産業で同数の11人となり、公益性での調整が必要でその他産業を2人増やす必要があり、その結果、東日本個人枠のその他産業の2人、山崎茂氏・永田麻美氏が繰り上げ当選となり、理事総数は今期の22人から24人になることが案内された。また、投票の結果、東日本個人枠で入江あずさ氏、中越出氏が、東日本法人枠で小原司氏、小川亮氏及び、監事の時田秀久氏が新たに当選となった。残念ながら、東日本個人枠の丸本彰一氏、菊地泰輔氏は再選を果たすことができなかった。なお、平成28・29年度役員選挙開票結果公報は2月1日に全役員にメールで案内した。

第8号議案 「理事の職務権限規定」及び「委員会規定」の改訂承認について

山崎事務局長から資料に沿って、12月9日の内閣府立入検査で指摘された「理事の職務権限規定」と「委員会規定」につき、下記に改訂案が提案された。

○「理事の職務権限規定」に第8条を追加し、総則・改訂に関する条項は繰り下げる。

(理事)

第8条 理事の職務権限は、次の通りとする。

- (1) 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款の定めるところにより、職務執行理事としての職務を執行する。
- (2) 理事は、理事会運営規定第16条に規定する取引をしようとする場合は、その規定に従って、理事会の承認を得なければならない。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。
(注)アンダーラインの部分を「報告事項」から「承認取得事項」に変更しました。

この件に関しては、3月理事会に総務委員会・事務局から再提案することとする。

※「理事会運営規定」第16条

(理事の取引の承認)

第16条 理事が取引をしようとする場合は、次の事項を明示して理事会の承認を得るものとする。

- (1) 取引をする理由
 - (2) 取引の内容
 - (3) 取引の相手方・金額・時期・場所等
 - (4) 取引が正当であることを示す参考資料
 - (5) その他、必要事項
- 2 前項に示した事項について変更する場合は、事前に理事会の承認を得るものとする。

○「委員会規定」の第2条の(1)全国事業委員会を国内交流委員会に改訂する。

(種類)

第2条 理事会は、この法人(以下、「本会」という。)の事業の円滑な遂行を図るため、担当理事を定めて、次に掲げる職務を行う委員会を置くことができる。

- (1) 国内交流委員会
パッケージデザインに関する全国規模の企画と実施
～
- (15) その他の委員会

※ 委員会規定につき、加藤理事長から下記の提案があった。

現在、委員会の運用に関し、委員長・副委員長を設けて活動しているところもあれば、理事が委員長を兼務しているところもある。そこで、新たに下記内容の規定を設けてはどうかという提案があった。

「委員会は、委員長・副委員長を設けることができる。その際、その責任と権限を担保する意味において、委嘱状を発行することができる。」

この件に関しては、3月理事会に総務委員会・事務局から提案することとする。

第9号議案 平成28年度の事業計画(案)及び正味財産増減予算(案)について

山崎事務局長から資料に沿って、下記の案内があった。

個々の予算案を検討するまでもなく、当期経常増減額はマイナス637万円で、昨年のマイナス224万円強と比較すると大幅に増加しており、各理事にお願いする縮減額も大幅に多くな

った。そこで、各理事にお願いする最終修正案の締切は3月2日(水)であるが、減額の額が多いだけに、中間(2月15～16日)に一度修正案を提出願うこととした。

なお、事業計画書に関しては、事業内容を公益性に則して充実させて欲しい旨の要請が山崎事務局長からあった。

第10号議案 JPDAのVI検討(ロゴマークの修正及びdロゴの扱い等)に関する調査結果(別紙参照)の案内及び今後の方向について

調査結果に関しては、冒頭に説明したとおり弁理士の山本氏から説明があったので、後半は、田川理事から資料(「dロゴの色替え」及び「dロゴの丸囲み」に関して、名刺の縦型・横型、A4サイズ封筒の例)に沿って説明があった。

この件に関し、加藤理事長から「dロゴの丸囲み」に関しての熱い思いが案内された。その後検討の結果、当面は両案を並行して使用することとするが、ただ単に2案で進行するというのではなく、なぜ「dロゴの丸囲み」を追加したのかの意味づけが必要ではないかとの意見が出された。また、コストアップにならないように、1色での展開案を検討しておく必要が提案された。

第11号議案 委員会報告

<決済事項>

○教育

- ・山崎理事から、「第42回パッケージデザインセミナー『先輩に学ぼう! パッケージデザインの基礎講座』」について収支計算報告(公益会計)があり、収入630,000円、協会補助 0円、支出合計381,830円、収支差額+248,170円を承認した。

開催日時：平成27年11月26日(木) 9:30～18:20

場 所：DIC株式会社 本社2F 大会議室(日本橋)

参加人数：58名(会員30名/一般10名/学生18名)

今回は、実務経験5年未満の若手と学生を対象に、パッケージデザインの基礎を1日で学ぶセミナーを開催した。パッケージデザインを6つのカテゴリーに分け、30代の若手を中心とした講師の方々に先輩の立場から仕事に対する考え方、進め方、大事にしていることなどについて自身の作品を交えて語ってもらった。

講師陣は、1限目は大黒大悟先生(日本デザインセンター)の『コンセプトワーク』。

2限目は近藤香織先生(資生堂)の『立体デザイン』。3限目は小比類巻 蘭先生(川路ヨウセイデザインオフィス)の『グラフィックデザイン』。4限目は真野元成先生(GKグラフィックス)の『ロゴ・タイプフェイス』。5限目は木村勝則先生(DIC)の『印刷と色』。6限目は丸山和子先生(丸山デザイン事務所)の『デザインと知財』。

今回の教育セミナーは前評判も良く、多くの受講生に参加いただき、会場が窮屈であったのではと心配したほどであったが、企画内容が新鮮で、クリエイティブが感じられる内容であったとの高評価であった。事業報告と同時に、アンケートの集計結果も案内された。

○東日本

- ・竹内理事から、トークカフェ2015「大喜利的商品開発のヒミツ」について収支計算報告(公益会計)があり、収入213,500円、協会補助102,900円、支出合計186,370円、収支差額+130,030円を承認した。

開催日時：平成27年11月4日(水) 18:30～20:30

場 所：3331 アーツちよだ 千代田区外神田

参加人数：89名(会員59名/一般14名/学生16名)

今回は日本のオモシロイをカタチに！の野望を掲げるスタイルY2インターナショナル(有井まゆ・ユカ姉妹)をお招きし、「大喜利の商品開発」をテーマに語ってもらった。スタイリングと輸出の仕事からキャリアをスタートしたそのユニークな経験や、お二人の人的魅力から生まれるクライアントとの関係の作り方は、他に類を見ないY2らしい魅力に溢れるものであった。アンケートを見ると、デザイナー経験が比較的浅い若手には大変好評であったが、中堅以降にはやや不十分な内容との声もあり今後の課題としたい。

○中日本(北陸)

- ・畝野理事から、「富山デザインフェア2015」について収支計算報告(公益会計)があり、収入100,000円、協会補助30,000円、支出合計111,742円、収支差額+18,258円を承認した。

開催日時：平成27年10月4日(日)

場 所：富山市民プラザ3階 マルチスタジオ

講 師：JPDA副理事長 伊藤 透氏

参加人数：68名

10月2日(金)～4日(日)まで「富山デザインフェア2015」が開催され、日本パッケージデザイン大賞巡回展と学生のパッケージ展等が開催された。最終日の4日には、伊藤副理事長の「デザインから日本を考えてみよう」と題した講演があり、68名の参加者を得て伊藤氏のこれまでのデザイン活動と「包む」という漢字の成り立ちから、海外と日本のデザインの違いや日本の美意識まで幅広く講演いただいた。

- ・畝野理事から、「Talk café 2015 in TOYAMA」について収支計算報告(公益会計)があり、収入22,000円、協会補助30,000円、支出合計70,975円、収支差額-18,985円を承認した。

開催日時：平成 27 年 11 月 25 日(水) 13:30 ~ 16:00

場 所：富山市民プラザ3階 マルチスタジオ

講 師：宮田裕美詠氏（グラフィックデザイナー）

参加人数：23名(会員5名/一般2名/学生16名)

第3回「Talk café 2015 in TOYAMA」を、富山県出身で、STRIDE 代表そしてグラフィックデザイナーの宮田裕美詠氏をパネリストとして招き、地元富山の企業と友好的な関係を築きながら、のびのびと仕事をする秘訣や実際の商品や印刷物の説明を交え、ものづくりのこだわりを解説してもらった。今回は、若手会員や学生にも積極的に参加してもらい、盛況のうちに終わることができた。

<報告事項>

○国内交流

- ・畝野理事から口頭で来期の全国会議につき、下記が案内された。
名称は11月理事会の審議結果を受け、「JPDA金沢デザイン会議」とする。
10月7日の開催を予定し、地元との交流を大きなテーマとして、金沢美大の会場をお借りして開催予定。オプションツアーは計画しないが、富山で開催中の「富山デザインフェア」等の催事を案内予定である。

○国際交流(ASPac事業)

- ・森理事から資料に沿って、ASPac事業について下記の案内があった。
ASPac事業のコンペティションに関しては、今後「ASPac Awards 2016」と呼称する旨が案内された。
 - *参加国は、日本・韓国・タイ・インドネシアに加え中国・台湾でのコンペになった。
 - *テーマは「サプライズ SURPRISE」で、新鮮な視点やアイデアで世界を驚かす作品を募集する。
 - *募集カテゴリーは、食品・菓子・飲料・化粧品・トイレタリー・家庭用品・文具雑貨・医薬品・電機製品・その他生活用品
 - *賞は、大賞1点、金・銀・銅各2点、国際交流基金賞5点、JPDA賞1点、優秀賞11点、企業賞未定、入選60点、佳作相応数
 - *審査員は、ASPac会長、JPDA理事長、著名デザイナーなど
 - *海外の入賞者への受賞特典として日本への招待、日本の入賞者への受賞特典は海外での巡回展時に招待。
 - *今回のコンペ案内チラシの制作は、(株)マックスアジアに依頼することになった。

○コンペティション

- ・名久井理事から資料に沿ってコンペティションの改革案につき、11月理事会での検討結果を踏まえて提案されたが、下記の意見が出された。
 - *審査員に関し、二次審査員を16人から12人にするのは、ましてや協会員が4人少なくなるのは問題であり、前回通りの16人で良いのではないか。むしろ、一次審査員45人は多すぎるのではないか。但し、一次審査員は45人でも良いという意見もあった。
 - *応募数の多いカテゴリーと少ないカテゴリーの入賞者数が同じというのも問題であり、賞無しを含めて委員会で入賞者数を決定すべきである。
 - *薬品を家庭用品・一般雑貨カテゴリーから独立させるのは、さらに1カテゴリーの応募者数が少なくなり問題ではないか。
 - *対面販売・セルフ販売に関しては自己申告であるが、今回はそれを委員会でチェックする計画である。なお、キオスクでの販売は、対面・セルフのどちらか？
- 上記の意見は持ち帰り、委員会で再度検討してもらうことになった。

○展覧会

- ・小川理事から資料にそって、うつくしい日本語のパッケージ「日本を包む」展につき下記の案内があった。
 - 東京展：2016年9月14日 ～ 26日 渋谷ヒカリエ（1・2・3ホール使用）
 - 大阪展：2016年12月26日 ～ 2017年1月11日 梅田ブリーゼ ブリーゼ
- 2018年の展覧会 言葉がないデザイン展を予定
- 2020年の展覧会 オリンピックイヤーに当たり、企画内容は検討中

○広報

- ・永島理事から口頭で、23号を1月初旬に発刊したばかりで、24号発刊に向けて現在は少し休息中である旨が案内された。

○インターネット

- ・江藤理事から口頭でインターネットに関しては、トップページのリニューアルを計画中であることと、各委員会のインターネット担当者とのコミュニケーション強化を考えていることが案内された。

○アーカイブ研究会

- ・信藤理事から資料に沿って、下記の案内があった。
 - かねてより、アーカイブ作品等が保管・展示できるスペースを探していたが、先日、協会事務所近くの「アーツちよだ3331」に空き室ができたとの情報を得、理事会の承認が得られれば申込をしたいと考えており、今日の理事会に参考資料として添付しているのを確認願いたい旨が案内された。

○デザイン保護

- ・山崎事務局長から資料に沿って、デザイン保護委員会の報告資料が案内された。

1、HP委員会レポートページの更新

11月24日【V o 1 . 73】

- ・情報発信「製品を公表してから意匠登録を出願する方法」の具体的な例
羽切正治弁理士（羽切特許事務所）
- ・活動報告「デザイン保護委員会実施報告」
- ・委員会ヒトコト通信
「湯〜トピア」と「湯〜とぴあ」を含む〈結合商標〉の類否判断が、控訴審で逆転！

12月15日【V o 1 . 74】

- ・情報発信「意匠登録出願で拒絶理由通知が発せられる！」
羽切正治弁理士（羽切特許事務所）
- ・活動報告「11/30内部勉強会レポート」
レンタルフォトに係わる権利とトラブル・Q&A
講師/ゲッティイメージズ氏（営業部部長、担当弁理士）
- ・委員会ヒトコト通信
「JPDAデザインセミナーで、「デザインと知財」のミニ講義を担当した。」

1月16日【V o 1 . 75】

- ・情報発信「ストックフォト活用法」～安全な使い方と落とし穴～
弁理士/知的財産アナリスト 長沼よう子氏
- ・活動報告「2015年度 第3回 D-8デザイン保護研究会」参加報告
12月3日(木) 18:30 ～ 20:30
- ・委員会ヒトコト通信A
- デザイン素材のチェックポイント・その権利は誰のもの -
- ・委員会ヒトコト通信B
「日本弁理士会・意匠委員会主催の参加費無料セミナーのご案内」

2、デザイン保護委員会開催 & 同日の内部勉強会実施

※上記の詳細は、インターネットホームページで確認ください。

○調査研究

- ・加藤憲司理事から口頭で、下記の案内があった。
ニッポンのパッケージデザイン調査～特産品開発におけるパッケージデザイナーの実態と役割～2015年度調査報告書を1月初旬に広報誌PD23号と同送した。
また、この調査結果については、3月に報告会を計画している旨が案内された。

○東日本

- ・竹内理事から資料に沿って、本日開催される「東日本新年デザイン交換会2016」の案内があった。

特別講演会：「歌舞伎へのいざない」 18：20 ～ 19：00

講 師：葛西聖司氏（アナウンサー・古典芸能解説者）

会 場：銀座・歌舞伎座ギャラリー 5F

賀詞交換会：19：15 ～ 21：00

会 場：銀座・歌舞伎座 お食事処 花籠 3F

○中日本(愛知・岐阜)

- 八木理事から口頭で、3月2日に講師に長谷川亮氏(ボディートレーナー)を招き、デザイナーズセミナーを開催する旨が案内された。

○西日本

- ・井上理事から資料に沿って、特別セミナー&新年交流会につき下記の案内があった。

開催日：2月19日(金)

会 場：特別セミナー(つなぐ 最終回) ホテル本能寺 16:30 ～ 18:00

：新年交流会 がんこ高瀬川二条店 18:20 ～ 20:20

講 師：松本 泉氏（元資生堂 宣伝制作部）

講演タイトル 「資生堂デザインとフォルム&色彩」

第12号議案 事務局報告

山崎事務局長から、下記の内容が案内された。

- ・平成28年度事業予算及び平成27年度事業収支決算の作成・決定に関するスケジュールについて
- ・「東日本新年デザイン交換会2016」のスケジュールについて

第13号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成28年3月9日(水) 午後1時30分～5時

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前